

学校法人駒澤学園 中長期計画

第2次 中期計画

(2019年4月～2024年3月)

【2023年度 行動計画】

学校法人 駒澤学園

凡例

1. 本書は、学校法人駒澤学園第2次中期計画の「2020年度 行動計画」である。第2次中期計画の10の戦略プランごとに、「行動目標」、「将来的展望」に分けて、法人・各設置校・事務局が行うべき「行動計画」を記してある。

2. 本書の用語は、以下のように定義される。

「基本目標」：第2次中期計画で達成すべく設定された到達目標。

「行動目標」：早急に取り組まなければならない課題。

「将来的展望」：長期的な尺度で必要となる施策。

「行動目標」：当該年度に取り組むべき「行動目標」の課題、「将来的展望」の施策。

【全学】：法人・各設置校・事務局に取り組むべき事項。

【法人】：法人が中心となり取り組むべき事項。

【大学】：駒沢女子大学に取り組むべき事項。

【大学院】：駒沢女子大学大学院に取り組むべき事項。

【短大】：駒沢女子短期大学に取り組むべき事項。

【中学】：駒沢学園女子中学校に取り組むべき事項。

【高校】：駒沢学園女子高等学校に取り組むべき事項。

【幼稚園】：駒沢女子短期大学附属こまざわ幼稚園に取り組むべき事項。

【事務局】：事務局に取り組むべき事項。

index

1	一貫した駒女アイデンティティー教育の実践と展開	1頁
2	学生・生徒・園児の確保	2頁
3	教育の充実	7頁
4	研究の充実	11頁
5	学生・生徒・園児支援体制の充実	12頁
6	経営改革	15頁
7	人材の確保と育成	16頁
8	危機管理体制の確立	18頁
9	ステークホルダーとの連携強化	19頁
10	地域連携	21頁

1 一貫した駒女アイデンティティー教育の実践と展開

基本目標 建学の精神・教育理念をもとに全学が連携し、女子総合学園としての一体性を確保する。

行動目標	2023年度の行動計画
1 駒沢学園 (Komajo) らしさの追求	<p>【全学】</p> <p>① 自校教育プログラムの開発と実施 【2023年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 建学の精神や本学の伝統を軸とし、本学の法人・教学組織に応じた自校教育プログラム、具現化するツールを構築する。 ▪ 創立100周年に向けて学園史編纂の検討に着手する。 ▪ 時代の趨勢に合わせた学校行事のあり方、周知徹底の方策を検討し実施する。 <p>② 学園が求める教職員像の周知徹底 【2023年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 建学の精神及び本学の伝統に基づいた「学園が求める教職員像」を構築し、恒常的に全学的なFD・SD等を通じて周知徹底する。 <p>③ 自校教育プログラムの構築と実施 【2023年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 本学の教学組織の仏教教育を抜本的に見直し、建学の精神や本学の伝統を軸とした全学的なアイデンティティー教育を構築し、実施する。 ▪ 博物館学実習館にて学園史資料の収集、整理、保管、展示を行い、学園の歴史や教育活動の保存・活用を行う。
2 一貫した広報活動	<p>【全学】</p> <p>① 学園・各設置校の教育目的・教育目標の周知徹底 【2023年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 教育目的・教育目標の周知徹底の具体的方策を検討し、実施する。 <p>② 各設置校の学内情報共有化による連携強化 【2023年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 各設置校と広報部の情報共有を図り、連携強化を進める。 <p>③ 学園諸行事の広報と活性化 【2023年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 広報部等関連部署との学園諸行事の告知（ホームページへの掲出、ポスター掲示）の具体的方策を検討し、を実施する。 ▪ 学園諸行事の平易な解説本の刊行の編集に着手する。
将来的展望	2023年度の行動計画
1 自校教育実施による活性化	<p>【全学】</p> <p>① 内部進学率の向上のための中高大の連携強化 【2023年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 中高大の連携強化のための仕組みを構築する。 ▪ 中高大の連携を強化し、内部進学率の向上を図る。

2 学生・生徒・園児の確保

基本目標	各設置校の教育水準を保ちつつ、安定的に学生・生徒・園児の定員を充足する。
-------------	--------------------------------------

行動目標	2023年度の行動計画
1 社会情勢に応じた入試形態の採用	【大学】 ① 人間総合学群の入学選抜等の見直しと実施 【2023年度の重点項目】 ・ 2023年2月～3月の大学入学共通テスト利用選抜における志願者、合格者、入学者の数を把握したうえで、2024年度入学選抜に備える必要がある。 ② 人間健康学部の入学選抜等の見直しと実施 【2023年度の重点項目】 ・ 2024年度学校推薦型選抜（指定校制）においては、受験生が不安なく、受験できるようにする為、試験当日おこなっていた基礎テストを取りやめることを決定した。 ③ 看護学部の入試選抜方法の見直しと実施 【2023年度の重点項目】 ・ 2024年度入学選抜においては、大学入学共通テスト利用選抜の入学者がこの2～3年5名以下になっているので、現在の定員10名を5名に変更し、その分、学校推薦型選抜の定員を5名増やす予定である。 ④ 多様な学生募集のための入学選抜の見直しと実施 【2023年度の重点項目】 ・ 昨年から導入した総合型選抜（併願型）Ⅱ期については、この2年間である程度の志願者を確保することができたので、2024年度入学選抜においても、継続していく予定である。 ⑤ 編入学選抜の見直しと実施 【2023年度の重点項目】 ・ 2024年度選抜にむけて、短期大学だけでなく、専門学校にも訪問をし、指定校利用者の傾向を確認をした上で、出願条件などを見直していく。また、ゼミ担当教員による訪問も引き続き検討する。
	【短大】 ① 保育科の入学選抜等の見直しと実施 【2023年度の重点項目】 ・ 過去5年における継続的な受験者減員の根本的な原因を客観的に分析した上での受験生獲得に向けた対応策を講じるため、教職員協同で組織的な情報収集及びIRの実施を行う。
	【中学・高校】 ① 入学数増のための入試選抜・入試広報の見直しと実施 【2023年度の重点項目】 ・ 中学：5月に実施した入試体験会が思ったよりも参加者を集められなかった点と秋以降になってから、プレゼンテーション型の体験はないのかという問い合わせがあったことを考え、時期を遅らせて実施していく予定。 ・ 高校：3日間、11月の下旬に実施していた入試説明会を、最後の塾・中学校訪問の後でも間に合うように1日は12月にかかるように時期を遅らせて実施予定。英語コースが本格的な広報時期になるので、英語コースに特化した内容を、説明会の中に盛り込む ・ 中高：クラブ体験会を、単独のイベントではなく、説明会の中で実施に変更。 ・ また、教員の生徒募集活動の負担が大きいことを鑑み、なるべく他行事との両立を避けたり、塾・中学訪問の回数やエリアの見直し、見学会など回数減のために定員数の見直しなどにも取り組む必要がある。

	<p>【幼稚園】</p> <p>① 定員数確保のための見直しと実施 【2023年度の重点項目】 ・ 幼稚園の定員充足のため、2歳児教室の保育内容の充実を図る。</p> <p>② 幼児教育の拠点となるための情報発信の取り組み 【2023年度の重点項目】 ・ 幼稚園主催の講演会、短大保育科との連携による企画を実施する。</p>
<p>2 オープンキャンパス等の見直しと実施</p>	<p>【大学】</p> <p>① オープンキャンパスの見直しと実施 【2023年度の重点項目】 ・ 引き続き5月<2023年5月29日（日）>と6月<2023年6月18日（日）>に1回ずつ、日曜日開催をおこない予定。</p> <p>② 入学前交流会の実施 【2023年度の重点項目】 ・ 2024年度の入学前交流会について、2023年度の実施内容を継続して検討する。</p> <p>③ 入学前学修の強化 【2023年度の重点項目】 ・ 2024年度入学前教育プログラム(共通課題)について、2023年度の同プログラムの実施状況を検証し、eラーニング・システムの利用及び課題内容、実施方法を継続する可否を検討する。</p> <p>【短大】</p> <p>① オープンキャンパスの見直しと実施 【2023年度の重点項目】 ・ オープンキャンパス参加者数を増やすため、実施方法・内容の継続的な見直しに加え、オープンキャンパスの広報活動の拡充を図る。 i 教員による体験授業だけでなく、学生スタッフとの共同による、手遊びや造形コーナーなど魅力ある体験内容の企画・実施 ii 参加者アンケートの収集・分析を通じた内容・方法の見直し iii 卒業生講話等の新規企画の検討・実施 ・ オープンキャンパスの参加者増のため、以下の事項を実施する。 (1) 教員の模擬授業だけでなく、学生スタッフとの共同による、手遊びや造形コーナーなど、参加者に魅力ある体験内容を企画し、実施する。 (2) 参加者へのアンケート結果を分析し、オープンキャンパスの内容・実施方法の見直しを適宜行う。 (3) 卒業生の講話等の新たな企画を検討し、実施する。</p> <p>② 入学前学修の強化 【2023年度の重点項目】 ・ 短大保育科の独自課題の添削回数を増やし、入学前学修の強化を図る。また提出された課題の回答状況、得点などの情報を共有し、新入生の一人ひとりの特性を把握する体制を構築する。 ・ 保育科のサポート教育として実施しているピアノ個人レッスンについて、今後は未経験者、初心者に対するより手厚い指導を実施する。</p> <p>③ 保護者会の実施 【2023年度の重点項目】 ・ ここ数年、コロナ禍ということもあり、入学時の保護者会が開催されずにいた。今後は、実習指導も含め、しっかりと保護者とも連携して学生指導にあたって行く必要があることから、保護者会を開催し、保育科の方向性や考えを適宜、保護者友共有し、同じ方向性で学生指導にあたる。</p>

	<p>【中学・高校】</p> <p>① オープンキャンパスの見直しと実施 【2023年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オープンキャンパス参加者数増のため、7月下旬と、9月23日の祝日に実施する。イベント内容は、こちらから知ってほしい内容の部分と、受験生が選んで体験できる内容の部分とに分け企画運営する。 ・ オープンキャンパスへの生徒スタッフの動員として、生徒の広報部員による校内見学を実施する。 <p>【幼稚園】</p> <p>① 入園説明会・見学者対応の見直しと実施 【2023年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入園説明会等の新規参加者を増やすための方策を検討し、実施する。 ・ 参加者が安心し、集中できる入園説明会を開催する。
<p>3 広報ツールの見直しと実施</p>	<p>【大学・短大】</p> <p>① 学校案内の見直しと実施 【2023年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「大学案内2024」を2023年4月に発行し、その後、検証をしたうえで、2022年度に決定した新規業者とともに「大学案内2025」の作成に取り組む。 <p>② 各学類・学科のホームページの見直しと実施 【2023年度の重点項目】</p> <p>大学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ より多くの受験生確保ができるよう、オープンキャンパスの内容や様子を紹介するランディングページを作成し、本学ホームページとリンクさせる予定。 <p>短大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 継続的なSNS広報活動およびインターネット広報活動の拡充を目指すため、入試委員会・広報委員会の協力連携体制を整備する。 ・ OGP設定後の効果測定を行い、それに対応するかたちで具体的な施策を練っていく予定（広報部・広報委員会）。また、「大学スマホ・サイトユーザビリティ調査」の結果も参考にして、改めてホームページを改善していく。 <p>③ 高校訪問の見直しと実施 【2023年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 在学生報告等のための教員による高校訪問の再開について検討する。 <p>④ 出前授業への教員派遣の検討 【2023年度の重点項目】</p> <p>大学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本学の特色を生かし、魅力ある出前授業について検討し、実施する。 <p>短大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高校側への出前授業実施についての広報企画を入試センターと共同で検討し、実施する。 <p>⑤ 保証人などのステークホルダーとの連携強化 【2023年度の重点項目】</p> <p>大学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保証人以外の各ステークホルダー（卒業生、高校進路担当教員、就職園等）に対する中期的な関係構築についての検討する。 <p>短大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2023年度においても保護者との連携強化を図りつつ、一層の受験生確保に取り組む。

	<p>【中学・高校】</p> <p>① 入試広報ツールの見直しと実施 【2023年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2023年度は高校英語コースの募集が始まることも考え、SNSだけでなく、多くの受験生に本校のHPに誘導できるような、リスティング広告を行い、受験生が来校しやすく、したくなるような説明会の見せ方の工夫を行う。 ・ HPのビューア数の高いクラブ活動をより多くの受験生に見てもらえるように、部活動ページの強化を行う。 <p>【幼稚園】</p> <p>① ホームページ・パンフレットの見直しと実施 【2023年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園の特徴や良さ、生活の様子が伝わるように、幼稚園のパンフレットを刷新する。
<p>4 定員充足のための検討</p>	<p>【大学】</p> <p>① 人間文化学類・観光文化学類の定員充足のための検討と実施 【2023年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人間総合学群の定員充足に向けた改革について、本格的に検討する。 <p>【大学院】</p> <p>① 大学院仏教文化専攻・臨床心理学専攻の定員充足のための検討と実施 【2023年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 両専攻の恒常的な定員充足のための方策について院の強み・特色を前面に打ち出した広報活動を行い、効果のある活動を実施する。 <p>【短大】</p> <p>① 短大保育科の定員充足のための検討 【2023年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 短大保育科の定員充足のために、教員による出前授業とミニオープンキャンパスを実施する。 <p>【中学】</p> <p>① 中学校の定員充足のための検討 【2023年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 単元別試験に加え、単元別まとめ試験を導入し、学力向上を図る。 ・ グローバル教育の取り組みとして、中国語、韓国語、フランス語の選択科目を導入する。

将来的展望	2023年度の行動計画
1 多様な学生を確保するための検討	【大学・短大】
	① 生涯学習プログラムの検討 【2023年度の重点項目】 ・ 建学の精神、仏教主義や大学・短大の各学類・学科・科の特色を生かした生涯学習プログラムについて、検討する。
	【中学・高校】
	① 正課以外の学習指導体制の検討 【2023年度の重点項目】 ・ 受験者数は増えたが合格率は下がっている。今後は合格率を上げるための生徒に対する指導（学習方法、補習・セミナー等）する。

3 教育の充実

基本目標	各設置校の段階に即した基礎教育と、学生・生徒の意欲・要望に応じた教養・専門教育を実施する。
------	---

行動目標	2023年度の行動計画
1 教育の質の向上	【大学】 ① 内部質保証の体制の実施と改善 【2023年度の重点項目】 ・ 全学的な内部質保証の周知徹底を図る。 ・ 各学群・学類、学部・学科単位の自己点検評価の運用方法を検討し、実施する。 ・ 学外者による定期的な外部評価体制を確立する。 ② 教育の質を保証するための仕組みの整備と実施 【2023年度の重点項目】 ・ 卒業生に対する学修到達度確認結果の個別フィードバック方法を検討し、実施する。 ・ 外部機関の資格検定試験等による学修効果の確認と検証方法を検討し、実施する。 ・ 駒沢女子大学教科書シリーズの将来的な運用について検討する。 ③ 教育改革の推進 【2023年度の重点項目】 ・ 教養科目の課題点を確認し、抜本的な改革に着手する。 ・ 人間総合学群の定員充足に向けた教育組織のあり方を検討する。
	【短大】 ① 内部質保証の整備と実施 【2023年度の重点項目】 ・ 内部質保証のための取り組みの検証を行う。 ② 教育の質を保証するための仕組みの整備と実施 【2023年度の重点項目】 ・ 学生一人ひとりの特性を把握するなど、学生把握による教育の質向上を行う。 ③ 学生の基礎学力強化のための取り組み強化 【2023年度の重点項目】 ・ 音楽のピアノ指導と、実習や就職に生きる基礎学力を全体的に捉えて情報を学内で共有し、課題に応じた対応ができる体制を整える。 ④ 教育改革の推進 【2023年度の重点項目】 ・ 3つのポリシー・カリキュラムマップの検討を科会で検討し、2024年の教育からの適用を目指し、改善する。 ・ GPAの活用方法について、検討する。
	【中学・高校】 ① 教務研修会（外部講師を含む）・教員研修会の実施 【2023年度の重点項目】 ・ 教務研修会に、「主体的に学習に取り組む姿勢」「学習評価」の教員スキルアップを図る。 ② 教育の質の保証のための仕組みの整備と実施 【2023年度の重点項目】 ・ 生徒による授業アンケートの結果をふまえ、担当教員の検証を行い、保護者・生徒へのフィードバックについて検討し、実施する。

	<p>【幼稚園】</p> <p>① 時代に応じた教育課程の再編成と教職員の共通理解の促進 【2023年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 短大保育科教員・副園長との協力による個別の保育内容の改善を行う。 ・ 園内保育研修として、公開保育を実施する。 ・ 教職員の個別面談を実施する。 ・ 他園の公開保育に参加する。 <p>② 外部研修参加の促進とその報告会の実施 【2023年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園の教育の質の向上のため、外部研修会への参加と報告会を実施する。 <p>③ 自己評価と外部評価の実施による園保育の質の向上 【2023年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 将来的な外部評価に向けて、カリキュラム・マネジメントを行い、教育課程・長期指導計画・短期指導計画の作成を弾力的に行う。
<p>2 柔軟性のある教育プログラムの構築</p>	<p>【大学】</p> <p>① 多様な学生の受け入れの検討と実施 【2023年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入学前課題（全学共通プログラム）について、前年度分を検証し、eラーニングシステムの内容等の検証も含め継続の可否を検討する。 ・ 「基礎学力テスト」の改廃について検討する。 ・ 社会人基礎力のベースとなる日本語力と英語力の強化をはかり、日本語検定とTOEICの受験者増と検定取得、スコア向上のための講座を主宰する。 ・ 就職支援対策のSPI講座をeラーニング・システムを導入し、通年体制で開講する。 <p>【短大】</p> <p>① 多様な学生の受け入れの検討と実施 【2023年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2023年度入学者に対して、漢字練習、課題調査、ペン習字の入学前課題を実施し、「KOMAJO 0学期」としてピアノ指導を行う。 ・ 基礎学力が低い学生に対して、科会に限らず実習担当者会議でも共有し、保育実習の事前指導や事後指導の機会においても追加で基礎学力向上に向けた対応を図る。また、実習指導において、保育・教育実習で記入方法を一定程度統一した上で、基本的な文章力の向上に向けた指導を実施していく。 <p>② 志願者・入学者増のための保育科の外部開放 【2023年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 継続的なSNS広報活動を行うための教員及び担当部署である広報委員会における体制を整備する。 ・ 広域な高校生（受験生）へのアプローチが可能な広報施策の内容について検討をし、実施計画を立てる。 ・ 地域連携および広報戦略にむけた施設開放などの外部開放についての実施計画を検討する。 <p>③ 保育現場のグローバル化への対応 【2023年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育・健康栄養・看護の近接領域を体験的に学修できる授業科目の創設を検討する。

	<p>【中学・高校】</p> <p>① 多様なニーズに応える教育と新しい教育プログラムの実施 【2023年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新カリキュラムが高2まで拡大するため各教科で授業研修を行い、よりよい授業を目指す。 ・ 特進・進学クラスの授業・試験問題の差別化により、一般受験で大学に合格できる学力をつける。 <p>② ICT教育の実施 【2023年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ I C T環境の設備充実とiPadを利用し同時双方向型アクティブラーニングを実施する。 ・ 情報科教員による教員・生徒対象のリテラシー教育を充実する。 <p>③ グローバル教育の充実 【2023年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 英語の学力試験対策等の実施し、家庭での学習習慣を定着させるよう継続的に課題を出す。 <p>【幼稚園】</p> <p>① 年間保育プログラムの見直しと実施 【2023年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ より質の高い縦割り保育を計画的に実施する。
将来的展望	2023度の行動計画
1 IT教育の充実	<p>【大学】</p> <p>① ICT教育環境の整備の検討 【2023年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Google Workspace for Educationの運用と新入生へのパソコン推奨販売を実施する。 ・ 学内でのWi-Fiの整備とともに、本学の新しい教育の中でどのようにICTを活用していくのか、本格的に検討し、実施していく。 <p>【短大】</p> <p>① 学生のパソコン技能向上のための教育の充実 【2023年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学修環境のデジタル化とICT機器の総操作方法、各種アプリケーションの活用方法等の学生及び教員のICTスキルアップのための学修支援を行う。 ・ I C T活用を学修できる科目の創設を検討する。 <p>【幼稚園】</p> <p>① ICT環境の整備による保育内容の充実 【2023年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全ての教職員へのパソコン完備

2 グローバル教育の充実	【大学】
	① 現代社会のグローバル化に対応した教育の検討 【2023年度の重点項目】 ・ 全学的な新しい教育において、どのようにグローバル教育を行うべきか検討していく。
	【短大】
	① 現代社会のグローバル化に対応した教育の検討 【2023年度の重点項目】 ・ 海外研修の実施形式（渡航・オンライン）を柔軟に設定可能とするなど、より多くの学生に機会提供が可能となるように、海外研修のあり方を抜本的に見直す。 ・ 海外研修とは別に、諸外国の保育事情を学修する授業科目の開設を検討する。
	【幼稚園】
	① 異文化理解のための保育の充実 【2023年度の重点項目】 ・ 異文化理解に関わるカリキュラムについて検討する。
3 国際貢献できる人材の育成	【大学・短大】
	① 国際貢献できる人材の育成の検討 【2023年度の重点項目】 ・ 本学の国際交流や国際貢献のあり方について、抜本的に見直す。

4 研究の充実

基本目標	社会に評価され、教育に資する最先端の研究を推進し、そのための環境を充実する。
-------------	--

行動目標	2023年度の行動計画
1 学内の研究体制の再編成と活性化	【大学】 ① 学内研究体制の再編と新たな研究体制の検討 【2023年度の重点項目】 ・ 研究成果を集約・検証し、専任教員の研究を活性化させる方策を検討する。 ・ 学内の研究活動を集約し、本学の特色を生かした共同研究を検討する。 ・ 公的研究の明確化及び私的研究の取り扱いについて検討する。
	【短大】 ① 研究成果の学内共有化と発信 【2023年度の重点項目】 ・ 研究成果を集約・検証し、専任教員の研究を活性化させる方策を検討する。 ・ 研究成果の学内共有と学外への発信力を高め、教員の研究活動及び保育者養成の特色を生かした共同研究等を活性化する。
2 中高幼の教育研究・研修の充実	【中学・高校】 ① 教務研修会（外部講師を含む）・教員研修会の実施 【2023年度の重点項目】 ・ 中高の学校改革等に関する教務研修会・講演会を開催し、中高の教員の教育研究活動の充実を図る。 ・ 教務研修会・講演会の効果について、検証する。
将来的展望	2023年度の行動計画
1 国際的学術交流の見直し	【大学】 ① 国際的学術交流の見直し 【2023年度の重点項目】 ・ 国際的学術交流の活性化のため、学内研究費・国際交流費支給制度・在外研究員制度を見直し、今後の国際的学術交流の方針、実施体制等を検討する。
	【短大】 ① 国際的学術交流の推進 【2023年度の重点項目】 ・ 専任教員の国内外開催の国際的学会への参加の制度等について見直し、今後の国際的学術交流の方針、実施体制等を検討する。
2 学内研究助成の見直し	【大学】 ① 学内研究助成の運用に関する検討 【2023年度の重点項目】 ・ 学内研究費等の専任教員の研究環境の整備について、検討し、実施する。
	【短大】 ① 研究助成のための枠組みづくりの検討 【2023年度の重点項目】 ・ 学内の研究費の運用について抜本的に見直し改善する。 ・ 学長裁量経費の運用について抜本的に見直し改善する。

5 学生・生徒・園児支援体制の充実

基本目標	学生・生徒・園児の学修（習）、生活、進路、情報環境について、思いやニーズに合った支援システムを充実する。
-------------	--

行動目標	2023年度の行動計画
1 学修（習）環境支援の充実	<p>【大学・短大】</p> <p>① 学生の能力に応じた補習教育・補充教育の実施 【2023年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2024年度入学前教育プログラム（共通課題）について、2023年度の同プログラムの実施状況を検証し、eラーニング・システムの利用及び課題内容、実施方法を継続する可否を検討する。 ・ 社会人基礎力のベースとなる日本語力と英語力の強化をはかり、日本語検定とTOEICの受験者増と検定取得、スコア向上のための講座を主宰する。 ・ 就職支援対策のSPI講座をeラーニング・システムを導入し、通年体制で開講する。 ・ 教員採用試験対策を教職課程委員会と連携し、1年生～4年生対象のプログラムを構築する。 <p>② 多様な学生（社会人・留学生・障がいのある学生）に対する学修支援 【2023年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 留学生の避難場所周知のため、避難訓練の実施を検討する。 ・ 障がいのある学生への支援として、障がいの状況に応じた学内への施設・移動機材等を充実させる。 <p>③ 学生の就学状況の把握と留年・退学の防止 【2023年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 【学生支援】 新型コロナウイルス感染拡大防止策を勘案し、GWEやKOMAJOポータルのチューデントプロフィール等ICTツールを活用し、学生支援の学内連携・情報共有を進める。 ・ 【奨学金体制】 学生支援課を中核部署とし、大学・短大の奨学生選考委員会と緊密に連携を図り、修学支援新制度、奨学金体制の円滑なる運用を行う。 <p>④ 学生への経済的支援体制の充実 【2023年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 【高等教育の修学支援新制度】 「高等教育の修学支援新制度」の対象機関としての認定を継続させる。 ・ 【本学独自の経済的支援】 在学生スカラシップ制度の運用と、本学独自の新たな経済的な学生支援のあり方を検討する。 <p>⑤ 図書館の学修環境の改善 【2023年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他大学の視察を事例を参考にしつつ、ラーニングコモンズに対するコンセプトを固め、予算措置や館内のスペースの有効活用など総合的に勘案しながら、設置に向けての具体的な取り組みを本格化する。 <p>⑥ 地域産業界等と連携した実践的PBL（課題解決型学習）の実施 【2023年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光文化学類を中心とする取り組みとして、観光資源調査、市場調査、企画書作成、アポイントメント、取材・撮影、編集・制作などを実施し、具体的目標を定め、マーケティング活動を主体的に学修する内容を継続実施する。 ・ 住空間デザイン学類の取り組みとして、以下の事業を継続実施する。 コマジヨスタイル2022 連携企業：株式会社東都 概要：賃貸住宅住戸内装のデザインパッケージ提案 ・ 健康栄養学科の取り組みとして、実社会でのスポーツの各場面で、栄養サポートを実践的に学ぶプロジェクトを広げることを継続実施する。

	<p>⑦ 学生の要望に対応した学修支援の実施 【2023年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 継続して授業アンケートおよび卒業年次アンケートは引き続き実施するが、質問項目等の検討、整理を行う。 ・ 授業アンケートおよび卒業年次アンケートの実施後、関連事項については各部署等に情報を共有し対応する。 <hr/> <p>【中学・高校】</p> <p>① 校内の学習環境の整備 【2023年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特進クラスの強化のため、生徒のニーズを受け、自習室の活用を検討する。 <p>② クラブ活動の充実 【2023年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年間のスケジュール調整のため、従来のりんどう祭の日程を1週間前倒しすることを検討する。 <p>③ 個人面談の充実 【2023年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2023年4月～5月に生徒面談、長期休み前に3回個別面談を実施する。 <hr/> <p>【幼稚園】</p> <p>① 保育教材等の物的環境の整備強化 【2023年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 園児用トイレの改修。 ・ 未就園児教室の空調更新。 <p>② 短大保育科との連携による保育内容の充実 【2023年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 短大保育科との連携により、園の保育内容を充実する。 ・ 短大保育科の教員・学生の受け入れ体制を改善する。 <p>③ 多様な園児・保護者への支援体制の充実 【2023年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特別に支援が必要な園児・保護者、多様な文化的背景のある園児・保護者への支援を充実する。
<p>2 生活環境支援の充実</p>	<p>【大学・短大】</p> <p>① 学生支援体制の強化 【2023年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学生支援課スタッフの充足。 <p>② ハラスメント防止のための施策検討・啓発 【2023年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ハラスメント防止および適切な対応のための体制を維持する。 ・ 全教職員へのハラスメント防止の注意喚起を行う。 <p>③ 学生の心身の健康、保健衛生及び安全確保 【2023年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍の学生の安全と健康を守るための支援を行う。 <p>④ 学生の正課外活動（部活動、ボランティア等）を充実させるための支援の実施 【2023年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍での学生の正課学外活動が安全に行えるための支援を行う。 ・ 学生主体のボランティア活動が行える仕組みを検討し、実施する。 ・ 学生支援プログラムや社会性育成プログラム等の充実を図る。

	<p>⑤ 学生の要望に対応した学生生活支援の実施 【2023年度の重点項目】 ・ 学生から寄せられた要望を精査・検討の上、実現可能なものから実施する。</p>
	<p>【幼稚園】</p>
	<p>① 幼稚園備品等の物的環境の整備強化 【2023年度の重点項目】 ・ 預かり保育の日数を増やす。</p>
<p>3 学生・生徒の進路に関する支援の実施</p>	<p>【大学・短大】</p> <p>① 進路選択に関わる学生支援の充実 【2023年度の重点項目】 ・ 採用動向の変化（早期化・長期化）に適切に対処する。 ・ 外部環境に応じて本学学生の就職活動における納得感を高め、低学年からの支援ニーズにも応えていく。 ・ 学生個々の活動状況を把握し、適宜状況に応じた支援を行う。</p>
<p>4 情報環境支援の充実</p>	<p>【大学・短大】</p> <p>① 学生の視点に立ったICT環境の検討 【2023年度の重点項目】 ・ 大学：Wi-Fi環境の整備も含め、本学のICT教育の充実について検討する 短大：保育科の授業科目が多い中、授業時間の確保をカリキュラム委員会の検討事項とする。</p> <p>【幼稚園】</p> <p>① 事務作業効率化のための園のICT環境整備 【2023年度の重点項目】 ・ 学園ネットワークシステムとの連携を検討し、実施する。 ・ 事務システム・ドコモンの円滑な運用を行う。 ・ 教職員のパソコンのスキルアップと保育にICT教材を導入し、活用する。</p>
<p>将来的展望</p>	<p>2023年度の行動計画</p>
<p>1 特色ある支援体制の確立</p>	<p>【大学】</p> <p>① テーラーメイド教育による総合的学修支援の充実 【2023年度の重点項目】 ・ 大学として、特色ある支援体制の確立の行動計画内容の再検討が必要。</p> <p>【短大】</p> <p>① 実習園と連携した学生の学修機会の提供 【2023年度の重点項目】 ・ 実習連絡懇談会を開催し、実習園との連携強化を図る。 ・ 2年間を通した各実習の学修目標を確認し、適切な実習時期を設定する。</p> <p>【幼稚園】</p> <p>① 幼稚園の保育内容の充実のための大学・短大・事務局との連携強化 【2023年度の重点項目】 ・ 幼稚園、大学・短大・法人との将来的な連携のあり方について継続的に検討する。</p>

6 経営改革

基本目標	教職員のコスト意識を向上させ、単年度ベースでの収支バランスの均衡を期間内に達成する。
-------------	--

行動目標	2023年度の行動計画
1 経営ガバナンスの強化	【法人】
	① 前年度実績に基づいた事業計画の策定と実行 【2023年度の重点項目】 ・ 各部門責任者の管理のもと、2024年度予算申請については、各予算に上限を設けることを予定し、更に厳格に行い、真に必要な支出に対して予算を手当出来るようにする。 ② ガバナンス・コンプライアンス体制の強化 【2023年度の重点項目】 ・ 2023年4月より中高にて導入予定の変形労働時間制についての関連規程の整備、労使協定の締結、運用ルールについて確立させる。 ③ 内部監査の適正なる運用 【2023年度の重点項目】 ・ 公的研究費の管理・監査のガイドラインに従い、科研費の執行を厳格に実施する。
2 財務状況の改善	【法人】
	① 人件費の抑制 【2023年度の重点項目】 ・ 人件費抑制効果のある方策について、再検証する。 ② 財務分析の実施による財務状況の改善 【2023年度の重点項目】 ・ 消耗品等経常的経費の削減には、各部署への購入見直しを要請。 ・ 光熱水費の削減には夜間冷暖房切断時刻の前倒しを働き方改革にも絡めて検討していく。 ③ 予算編成におけるヒアリング強化 【2023年度の重点項目】 ・ 各部署予算申請時には、申請上限額を設定することを検討する。 （方法としては、相対法(前年度比△%)あるいは絶対法(学科収支から算出)等)
将来的展望	2023年度の行動計画
1 学内施設設備の改修・更新の 年次計画策定	【法人】
	① 中長期にわたる学内施設設備の修繕年次計画の策定 【2023年度の重点項目】 ・ 多年にわたる工事計画書を作成依頼する。

7 人材の確保と育成

基本目標 学園の永続的発展のため、有能な人材の適切な年代構成に配慮した採用及び育成システムを構築する。

行動目標	2023年度の行動計画
1 教職員の意識向上と育成	【法人】
	① 全学的なFD・SD活動の活性化 【2023年度の重点項目】 <ul style="list-style-type: none"> ・ SDフォーラム参加者の増加のため、各部署に周知・徹底する。 ・ SD、FDは同時期に実施予定年、内容は、現在の社会状況に照らしつつ本学の教育研究に資するものを引き続き実施する。
	② 人事評価の評価基準等の見直しと実施 【2023年度の重点項目】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事務職員に対して、目標管理制度の実施に向け検討する。
	③ 大学・短大の専門業務型裁量労働制の導入 【2023年度の重点項目】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 裁量労働制導入後における教育研究に向けた成果、効果の確認
	【大学・短大】
2 適切な人材確保と配置	① 適正かつ計画的な教員の配置 【2023年度の重点項目】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 2023年度の大学・短期大学の専任教員・非常勤講師の任用計画の策定。 ・ 教員人事委員会規程に基づく、教員人事の運用を行う。 ・ 2023年度の大学設置基準の改正に伴う、「基幹教員」に関する諸規程の整備を行う。
	【中学・高校・幼稚園】
	① 教員の資質向上 【2023年度の重点項目】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員研修会・教務研修会を実施し、教員のスキル・資質の向上を図る。
2 適切な人材確保と配置	【事務局】
	① 事務局の適切な人材確保の制度の整備 【2023年度の重点項目】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 即戦力となる中途採用を実施する。 ・ 定着率、資質向上のためSD研修等の積極的参加を促す。
	② 事務局各部署の職員配置の見直しと業務の効率化 【2023年度の重点項目】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期的な人事異動を実施すると共に各部署の業務に対しての配置適正を検証し、人員配置する。
	③ ジョブローテーションを意識した事務局職員の配置 【2023年度の重点項目】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 人員が不足している部署については即戦力人材の採用を進める。
2 適切な人材確保と配置	【中学・高校】
	① 生徒数・教育内容に応じた適正な教員の採用と配置 【2023年度の重点項目】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 高校：全教員を対象に、各個人による外部研修会への参加を促す。 ・ 人事が決まり次第、早めに各学年の年間計画についての打ち合わせを行い、新任教員には、外部の研修に参加させる。

	【幼稚園】 ① 園児数・保育内容に応じた適正な教員の採用と配置 【2023年度の重点項目】 ・ 特別支援の幼児に対する加配教員の補充を行う。
将来的展望	2023年度の行動計画
1 専門性・創造性・自主性を備えた 職員の育成	【事務局】 ① アドミニストレーターの育成 【2023年度の重点項目】 ・ 管理監督者へ参加依頼、人事からの指名による参加促進を継続セミナー枠の上限に近づくよう啓蒙活動を進めていく。
2 職務に応じた給与体系の確立	【法人】 ① 給与体系の抜本的な見直し 【2023年度の重点項目】 ・ 「人事評価制度の検証」を行う前提として各部署の目標設定と管理監督者と1on1の実施など個人と部署の関係性の強化を行う。前年度に掲げて対応できなかった目標設定の運用と検証については、2023年度必ず実施する。平行して社労士などの意見を伺い給与規程の見直しを進める。

8 危機管理体制の確立

基本目標	学園生活において、安心、安全を保つため、想定されるあらゆる危機に即応できる管理体制を整える。
-------------	--

行動目標	2023年度の行動計画
1 リスクマネジメント体制の強化	【法人】
	① 防災マニュアルの見直しと全学的・恒常的な避難訓練の実施 【2023年度の重点項目】 ・危機管理規程と照合し、防災マニュアルの見直しを行う。 ② 多様な情報社会に対するセキュリティーシステムの管理体制の見直し 【2023年度の重点項目】 ・教職員への発生時における安否確認ツールの導入を検討する。 ③ 改正著作権法への対応と実施 【2023年度の重点項目】 ・著作権に関する全学的な講習を実施し、理解を深める。
2 教職員の安全衛生管理の推進	【法人】
	① 教職員の安全衛生管理意識の向上 【2023年度の重点項目】 ・安全衛生委員会を定期開催する。 ・ストレスチェック未受診者に対する受診促しによる受信者10割必達する。 ・普通救命講習受講者を未受講者を0にする。 ・2023年4月新勤怠管理システムの導入に伴う専任教職員の勤怠管理、労働時間の敵関把握を行う。 ・定期健康診断受診者数を恒常的に10割必達する。
将来的展望	2023年度の行動計画
1 災害時の地域連携の検討	【法人】
	① 災害時における地域との連携の検討 【2023年度の重点項目】 ・災害時における地域住民の避難場所として想定した実地訓練を検討する。
2 危機管理に関する委員会の整備	【法人】
	① 危機管理に関する委員会の再編と関連諸規程の見直し 【2023年度の重点項目】 ・危機管理マニュアル、及びハラスメント規程を改訂する。

9 ステークホルダーとの連携強化

基本目標	ステークホルダーである卒業生及び保護者から信頼される、開かれた学園にする。
-------------	---------------------------------------

行動目標	2023年度の行動計画
1 同窓会の組織再編と活性化支援	【大学・短大】
	① 同窓会組織の再編と活動支援体制の構築 【2023年度の重点項目】 ・ 同窓会組織再編に向けての活動を同窓会準備委員と連携し支援する。
	【中学・高校】
	① 明星会の活動の活性化 【2023年度の重点項目】 ・ 明星会役員を選出に若年層の参加促しを支援する。
2 卒業生との連携強化	【幼稚園】
	① 幼稚園同窓会組織の整備と情報発信 【2023年度の重点項目】 ・ 卒園生との活動を検討する。
	【大学・短大】
	① 卒業生とのつながりを維持するための行事の実施 【2023年度の重点項目】 ・ 同窓会総会をりんどう祭に同時開催し、再編に向け活動を開始する。
3 保護者との連携強化	【幼稚園】
	① 卒園生との連携強化 【2023年度の重点項目】 ・ 卒園生との連携強化の意義・利点、卒園生との連携強化を図るための方策を検討する。
	【大学・短大】
	① 連携行事・相談会等の実施による保護者との連携強化 【2023年度の重点項目】 ・ 保護者との連携強化の意義・利点を検討する。 ・ HPなどにおいて保護者を意識したコンテンツを充実させることを検討する。
3 保護者との連携強化	【幼稚園】
	① 保護者と園の連携強化 【2023年度の重点項目】 ・ 保護者と園の連携強化のための方策を検討し、実施する。

将来的展望	2023年度の行動計画
1 駒沢学園同窓会組織の確立	<p>【法人】</p> <p>① 一元化された同窓会組織の確立（大・短・高・中・幼） 【2023年度の重点項目】 ・ 大学短大では、りんどう祭時に同窓会総会を実施し、活動を再開することを契機とし、今後同窓生との強固な結びつきを築いていく活動を支援する。</p> <p>② 帰属意識を高めるための情報発信ツールの確立 【2023年度の重点項目】 ・ 2022年度は、同窓会の組織の活性化のための講演会や、博物館学実習館での学園史展などの再開に向けて、関係部署と協議をしていきたい。</p>
2 同窓会事務及び集える場所の整備	<p>【法人】</p> <p>① 一元化された同窓会事務局の確立（大・短・高・中・幼） 【2023年度の重点項目】 ・ 学園創立100周年に向けて、本学の一元化された同窓会の組織の整備について、課題を抽出していきたい。</p>

10 地域連携

基本目標	総合学園としての資源、機能を生かし、地域のニーズに即した発信型の地域連携を展開する。
-------------	--

行動目標	2023年度の行動計画
1 地域連携の推進	【大学】
	① 学外組織との適切な地域連携の推進 【2023年度の重点項目】 ・ 本学の特色を生かした地元自治体・企業との産官学連携の新たな事業の開拓を行う。
	② 学園の資源、機能を生かし、地域のニーズに即した発信型の地域貢献 【2023年度の重点項目】 ・ 稲城市役所、自治会などとの定期的な意見交換の確立する。
	③ 地域交流・地域の国際交流事業への学生参加 【2023年度の重点項目】 ・ 新型コロナウイルス感染症の状況をみながら、稲城市内の小学校、中学校へ本学の留学生を派遣し、地域の児童、生徒の国際理解、多様性の教育に貢献する。
	【短大】
	① 地域交流・地域の国際交流事業への学生参加 【2023年度の重点項目】 ・ 地域の要望・ニーズ把握を踏まえたボランティア活動の企画・運営を行う。 ・ 子どもの遊び場提供ボランティアの継続的な実施とともに、新たに子どもに関する近接領域（看護・健康・保育）が連携したボランティア活動を実施する。
	【中学・高校】
1 地域連携の組織づくり	① 中高の特色を生かした地域連携 【2023年度の重点項目】 ・ りんどう祭でのイベントを大学短大と連携し合同イベントとする検討。
	② 中高の生徒募集と地域連携 【2023年度の重点項目】 ・ 積極的にオンラインを活用し、外部発信を強化する。
	【幼稚園】
1 地域連携の組織づくり	① 幼稚園の特色を生かした地域連携 【2023年度の重点項目】 ・ 向陽台小学校との連携強化を行う。
	【全学】
1 地域連携の組織づくり	① 全学的な地域連携体制づくりのための検討 【2023年度の重点項目】 ・ 地域連携部門の設置について検討する。
	【幼稚園】
1 地域連携の組織づくり	① 幼児教育の拠点としての体制づくりのための検討 【2023年度の重点項目】 ・ 幼稚園の特色や実績を分析し、幼児教育の拠点としてどのような役割を担えるか検討する。

学校法人駒澤学園 中長期計画

第2次 中期計画

(2019年4月～2024年3月)

【2023年度 行動計画】

学校法人駒澤学園

2023年4月1日